

## 平成 27 年度静岡福祉大学卒業式 学長式辞

本日、学士課程を無事終了された 195 名の皆様に学士の学位を授与するとともに、シニア市民大学を修了した 2 名の方に修了証を授与する運びとなりました。

ご来賓の焼津市長、焼津市議会議長をはじめとする皆様、そして列席の理事長、副学長、学部長とともに、ご卒業を心からお慶び申し上げます。あわせて、本日の卒業式を迎えるまでご支援を賜りましたご家族ならびに関係者の皆様にも心から御礼申し上げます。

また、本日の卒業生たちに対し熱意を持って指導にあたった教員の皆様、学生生活をしっかりと支え続けた職員の皆様にも、この場を借りて改めて感謝いたします。

さて、卒業生の皆様は本日より、いよいよ社会人として歩み始めます。学長としての私の願いは、皆様が高等教育機関で身につけた専門的な知識と専門的な技術を携え、自信を持って社会人としての第一歩を歩んでいただきたいと願っています。

静岡福祉大学の学生は、他人の痛みが分かる、優しさにあふれた学生が多いという声を福祉関係者はもとより、多くの人から聞くことができます。優しさ、言葉を換えていえば他人の立場に立つことができる、すなわち共感する能力は、それだけでも素晴らしい力と言えるでしょう。

しかし、それに加えて私から皆様に期待したいことがあります。それは夢を持ち続けるということです。夢を理想という言葉に置き換えてもよいかもしれませんが、私の夢、私の理想です。

おそらく、社会に出れば、さまざまな辛さや困難さを覚えることでしょう。大学時代には思いもよらなかった出来事が待ち受けていると思います。ややもすれば、変化の激しさを目の当たりにして、目先の課題や問題を解決することで精一杯になってしまうかもしれません。

むしろ、そんなときこそ、自分の夢を忘れないでいただきたいのです。辛さを乗り越えるのは、そして困難さに立ち向かうのは何のためかと自分に問いかけていただきたい。そして、自分の夢を実現するために今、歩んでいるという強い信念を持ち続けていただきたいと心から願っています。

ヨットは逆風でこそ、スピードを上げることができます。飛行機も飛び立つときは向かい風を受ける姿勢、向きがもっとも効率的といわれます。そして、そんな向かい風のなか、飛行機は目指すべき目的地に向かって飛び立っていきます。

社会人としての歩みも同じといえるのではないのでしょうか。いつでも夢を忘

れずに、つまりは目的地を思い描いて明日からの第一歩を踏み出していただきたいと思います。その点をしっかりと押さえておくことによって、たとえ逆風を受けようとも、迷うことなく前に進むことができますし、むしろ逆風を活用して飛び立つことができると思うのです。

皆様を待ち受けている人が社会にはたくさんいます。就職先に限りません。福祉心理学科、医療福祉学科、健康福祉学科とそれぞれの領域で学んだ能力に期待している人は少なくありません。ぜひ、そうした期待に応えていただきたいと思います。

本学の使命は「実践力のある福祉・教育専門職の養成を通じて福祉社会を実現する」ことにあります。

その意味で、皆様は福祉社会を築く上で欠かせない優秀な人材に間違いありません。障害があってもなくても、性別や年齢にかかわらず、誰もが社会参加できる社会こそが福祉社会といえます。

本学を卒業した皆様がそうした福祉社会を実現する姿を私たちは心に描いて送り出したいと思います。

すでに社会で一足先に活躍中の先輩方とともに、私たちは皆様に声援を送り続けます。式辞の最後にあたり、皆様お一人お一人が幸せな人生を過ごされることをお祈り申し上げます。

本日は誠におめでとうございます。

平成 28 年 3 月 17 日

静岡福祉大学 学長 太田晴康